



3
 2020

主 題 (2 0 1 9 / 2 0 2 0)

国 際 会 長 : Building today for a better tomorrow. On the MOVE!
 「より良い明日のために今日を築く」 「さあ動こう！」

ア ジ ア 会 長 : Action! With Pride and Pleasure.
 「アクション！」 「誇りと喜びを持って」

西 日 本 区 理 事 : Be wind, Be light. Spirit and Purpose in our Lives.
 「風となれ、ひかりとなれ」「こころ豊かにあるために、輝くために」

中 西 部 長 : We can do it!
 「為せば成る！」

大 阪 ク ラ ブ 会 長 : Let's enjoy Y's Life!
 「楽しもうワイズライフ！」

会 長	脇 本	博	博
直前会長	脇 本	博	
副会長	清 水	汎	
	豊 島	正 利	
	森 嶋	弘 明	
書 記	北 村	知 三	
会 計	牟 大	盛	
ブリテン	清 水	汎	
連絡主事	濱 添	吉 生	

【今月の聖句】

「どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。

フィリピの信徒への手紙 4 章 6 節

【聖句に寄せて】

田尻 忠邦

祈ると言うことは神様にのみ頼り、人や自分にも助けを求めないということ。自分でできることはないに等しい、弱い者だと認めた時に心の平安が訪れます。頑固に自分で頑張っている間は中々神様の救いに預かれません。

(kohituji のブログより)

【巻頭雑感】

清水 汎

人類が現在 7.5 億人、世紀末には 100 億人になると言われています。約 250 年前の産業革命の時代の人口は約 5 億人と言っていますが、現在 7.5 億人、1.5 倍に増えています。それだけエネルギーを使うわけですから。温暖化を防ぐと言ってもエネルギーの使用増加は避けられないのではないかとされています。

地質学、天文学の学者によると、地球と太陽の関係は、絶えず変化していると言っています。地球は、300 万年前ごろから地球上は徐々に寒冷化が進行していると言っています。地球の公転軌道と気候の間に関連があると指摘したミランコビッチ理論で、10 万年の寒冷期と 1 万 2000 年の温暖期が交互に地球上で繰り返す、円形で回転する場合は寒冷期、楕円形で回転する場合は温暖期と言われています。現在温暖期で 1 万 1600 年辺りでないかとされています。温暖期では農耕が発達し人類の発展増

加に大変貢献していると言われていています。現在の化石燃料は80年ほどで掘り尽くされると言われています。エネルギー資源が枯渇して寒冷期に入った場合、100億の人類は生き残ることができるか、大変大きな問題が人類史上に問われていると思います。

寒冷期でも人類は生存していたのは事実で、狩猟民族が主であったと言われていています。温暖期に比べ寒冷期は平均気温が10度以上下がると言われています。しかし100億の人口は生存できないと思われます。我々は、現在非常に恵まれた環境で生活出来ていることに感謝しなければならないと思います。

【3月例会プログラム】 (JWF強調月間)

と き：2020年3月10日(火) 18:30～

ところ：土佐堀YMCA 101号室

会 費：ビジター 1000円

司会：植野正弘メン

1. 開会の鐘 協本博会長
2. クラブソング
3. ゲストメネット紹介
4. 今月のみことば 田尻忠邦メン
5. 会長報告 協本博会長
6. 「日々の糧」斉唱・晚餐
7. 会食
8. 講演
講 師：重信直人さん (YMCA総合研究所)・・高齢事業に関するお話し
テーマ：「フレイル(虚弱)を予防して生き生き人生」
9. 誕生日・結婚記念日のお祝い・ニコニコ
10. インフォメーション
11. YMCAニュース
12. 閉会の鐘 協本博会長

◆今月のお誕生日：該当者なし

◆メネットさんお誕生日：該当者なし

◆ご結婚記念日：森嶋弘明(21)、植野正弘(21)

【第2例会のご案内】

と き：2020年3月17日(火) 19:00～21:00

ところ：大阪土佐堀YMCA会館 701号室

(変更になることもあります)

【2月出席状況】

区 分	在籍数	出席数 (%)	メネット	ビジター ゲスト
正会員	12	8 (66.7)	1	17
広義会員	2	0	0	
計	14	8	1	17

☆ニコニコ献金； 9,000円

★メネット；脇本真知子メネット会長

★ビジター；和田早苗様（大阪なかのしま） 今井利子様（大阪なかのしま）

★ゲスト；山原雅弘様（大阪クラブ友人） 黒川啓様（手話通訳者）

YMCA関係者：錦織一郎様、林貴子様、杉山聡子様

HHリーダー会：高土雄輔様、西村智恵様、小山真利子様、荒木彩音様、石川穂奈美様、
園田俊介様、片岡ケンジ様、福本繭美様、勝矢千晶様、西村佳恵様

【2月例会報告】

田尻 忠邦

2月13日（木）の大阪ワイズメンズクラブの例会は、大阪YMCAの協力を得て、昨年6月26日に逝去された條イサヨメンを偲ぶ会として開催されました。出席者は大阪クラブから、脇本博会長、清水汎、北村知三、牟大盛、植野正弘、藤岡宏樹、濱添吉生スタッフ、田尻忠邦の各メン、脇本真知子メネット会長、ビジターとして、なかのしまクラブの今井利子、和田早苗メン、ゲストとして元大阪YMCA総主事の錦織一郎さん、杉山聡子、林貴子スタッフ、それから4月に入会式を控えている山原雅弘さん、HHリーダー会からは、高土雄輔会長、西村智恵、西村佳恵、小山真利子、勝矢千晶、福本繭美、園田俊介、片岡ケンジ、荒木彩音、石川穂奈美さんら、かつてのHH国際キャンプの参加者が多数参加してくれました。また、手話通訳者として黒川啓さんに、賛美歌奏楽に和田早苗さんにご奉仕いただきました。

例会は、脇本会長の開会点鐘と挨拶に始まり、偲ぶ会は第一部追悼の集いと、第二部は食事をしながら、参加者が故人についての思い出を語る偲ぶ会の2部構成で行われました。第一部では、錦織さんが故人を偲んで、條先生との出会いが第2回のHH国際キャンプでウエルネスのスタッフとして阿南国際海洋センターでの海洋プログラムの担当であったことや、大阪、香港、台北、マレーシア各YMCAの参加者の手話でのコミュニケーションが円滑にできるように日本語、中国語、英語で3ヶ国語の手話辞典の編纂の中心人物であったことなどのお話をされました。

引続き公務の為ご出席いただけなかった末岡祥弘前総主事の感謝の言葉を、藤岡メンに代読していただきました。末岡メンと條先生との出会いは、末岡メンが阿南のユースリーダー時代の事だったそうです。また、2002年に大阪YMCAがHH国際キャンプを阿南国際海洋センターで主催した際、條先生が夜間に側溝に落ちて足をケガして救急搬送された際に付き添われた時にも現場のことを心配して、一刻も早く海洋センターに戻ることを希望されたそうです。

脇本メネット会長からは、條先生が大阪ワイズメンズクラブに入会され以降のエピソードを紹介され

ました。毎月、徳島から高速バスで大阪に出てこれ、例会後はしばしば脇本会長宅にお泊りになられたそうですが、数泊のお泊りにも関わらず、当時篆刻のクラスを大阪で受講されていた関係で材料となる石をデイパックに入れておられたので、荷物がとても重かったとの事でした。

HHリーダー会会長の高土さんは、條先生との初めての出会いは、1994年のタイでのHH国際キャンプに初参加した16歳の生野聾学校の生徒の時だったそうです。海外の同じ障がいを持つキャンパーとの出会いに興奮し、寝る時間も惜しんで夜通し手話で話をして、條先生に叱られたことや、日本文化紹介の日本舞踊の指導や手工芸の指導は、厳しくも優しい生真面目な條先生のお人柄を紹介するものでした。

第二部は、お弁当をいただきながら、参加者全員が條先生の思い出を語る時間となりました。HH国際キャンプの歴史は、條先生が手話通訳者としてプログラムに参加された時代と重なり、それぞれの時代のHH国際キャンプの参加者の思い出話は、共通して厳しいながらも生徒想いの條先生のお人柄を彷彿とさせるものでした。また、大阪クラブが創立70周年を記念して設立した聴覚障がい青少年支援基金でスタートした英語学習支援プログラムと要約筆記ボランティア養成コースの事業から、2007年に大阪YMCA創立125周年を記念する大阪YMCA主催の第32回HH国際キャンプを機に大阪クラブがCS事業をHHキャンプ支援にシフトして今日に至る歴史を振り返ることもできました。



【2月第2例会・役員会報告】

日時：2020年2月18日（火） 19:00～20:30

場所：土佐堀YMCA701号室

出席者：脇本博会長、北村知三、牟 大盛、田尻忠邦

協議事項：

1) 3月例会（JWF強調月間）3月10日（火）18:30～ 土佐堀Y 101号室

講師：重信直人さん（YMCA総合研究所）・・高齢事業に関するお話し

テーマ：「フレイル（虚弱）を予防して生き生き人生」

お車代：1万円

司会：植野正弘メン 受付：藤岡、牟、崔メネット

— 4月例会（YMCAサービス/ASF強調月間）4月14日（火）

・講師候補者があり、日程確認などは後日確定する。

・胡田さん、山原さんの入会式を4月例会のなかで行うこととなった。

— 5月例会（LT強調月間）5月12日（火）

・講師候補者について検討した。

— 6月例会（年間評価、次期計画）6月9日（火）

*クラブ月例会に、YMCAのスタッフや教員など例会参加希望者を募集招待する。

2) その他協議事項

① 他クラブ周年記念の件

—神戸クラブ創立90周年（チャーター月2月）

周年例会：2月22日（土）2:00PM～ ANAクラウンプラザH（会費1万円）

参加者：清水（汎）メン、牟メン（祝儀を持参）、祝電は無し

—熊本クラブ創立70周年（チャーター月8月）

周年例会：3月15日（日） キャッスルホテル（熊本）

祝儀は送り済、祝電は当日までに送る

—京都ウエストクラブ創立40周年記念例会5月5日（火・祝） 京都国際会館

参加者：清水（汎）メン

② その他イベント

—3月28日（土）2:00PM～ 桂吉弥落語会（大阪YMCA会館2階大ホール）

参加者チケット（入場料2千円）個人購入済

—6月13日（土） 西日本区大会（場所：琵琶湖ホール・琵琶湖ホテル）

各クラブでまとめて申込みすることに変更されており、3月例会で牟メンがまとめることになった。

③ ブリテン編集の件：

—例会報告担当者：3月藤岡 4月北村 5月脇本 6月植野

④ 来期の会長と次次期中西部部長の人事について、3月例会でクラブの承認を受けることになった。

・次期会長の承認を受ければ、牟大盛メンから、3役の書記は北村メン、会計は植野メンを指名することになった。

・次次期中西部長候補は牟大盛メンを推薦

⑤ パサディナクラブ交換留学生（受け入れ）の件について、このところの新型肺炎流行の状況を見ながら、パサディナクラブにおうかがいすることになった。

⑥ 今年のHHキャンプは国内キャンプの年で、阿南で行うことが予定されている。

⑦ 次年度の8月納涼例会の日時場所が検討され、新型肺炎の状況を見ながら決めようということになった。

3) その他報告事項

① 2/1（土）の土佐堀Yチャリティボウリング大会には牟メンが参加し、HHリーダー会参加支援として、参加費¥14,000.-を基金から供出した。

② 牟メンから、中西部Y`サユース事業主査として出席した中西部評議会で、「ビジネス交流会の発足及び後援依頼の件」議案提出され種々討議の結果、議決されたとのこと。

「ワイズビジネス交流会」の発足を目指し、ワイズ活動の広がりのため、EMCにつなぐため、などを目的として、ゴルフなどレクリエーションが計画されている。予算は中西部ではなく、JWF資金使用を西日本区に申請することなど討議されたとのことである。また「ウナギの森」事業と「メネットアワー」は、今年度は無しとなった。

【チャリティボウリング実施報告】

牟 大盛

2月1日(土)午後5時から、弁天町グランドボウルで、土佐堀YMCA主催のチャリティボウリング大会が、約80名の参加で開催されました。大阪クラブではHHリーダー会のメンバー1組を支援しました。

昨年までの、桜橋ボウルは閉鎖のため弁天町グランドボウルに場所を移しての開催でした。ほぼ、ボウリング場の1階を貸し切り状態で、センテニアルクラブの大村肇クリスマス献金委員長の始球式で試合開始です。小生は、毎年何らかの形で(補充員)参加しましたが、今年は後ろで応援に回りました。各自2ゲームずつ終わった段階で、まず、チーム別順位賞、そして個人順位賞の発表です。残念ながらHHリーダー会では、内村さんの個人賞4位のみでしたが、久しぶりのHHリーダー会参加でしたので、今後の活躍が期待できました。

また、YMCA職員、ワイズメン、メネットそして留学生などが一体となった感のある、これぞYYY活動と言える熱気溢れたチャリティボウリング大会でした。

HHリーダー会参加者は、西村佳恵、西村智恵、松坂牧子、内村敏之さんと、クラブ参加応援者は田尻忠邦、牟大盛でした。



【神戸クラブ90周年祝会・同メネットクラブ55周年祝会報告】

牟 大盛

2月22日土曜日午後2時から、ANAクラウンプラザホテル神戸にて、神戸クラブ創立90周年、メネットクラブ55周年記念祝会が、146名の参加で開催されました。時は、中国からのコロナウイルスのため、日本各所で団体の行事が自粛されていますが、皆さん予定を変更することなく参加されました。

開会点鐘とワイズソング斉唱のあと、中道基夫神戸YMCA理事長の聖書朗読「希望の源である神が、信仰によって得られるあらゆる喜びと平和であなたがたを満たし、聖霊の力によって希望に満ちあふれさせてくださるように」(ローマ書15章13節)を朗読のあと、開会の祈祷があり、尾上尚司会長の挨拶と戸所岩男理事の祝辞とともに、3月の次期会長・主査研修会の中止延期についてお詫びとご説明がありました。

続いて、井上真二神戸YMCA総主事から阪神大震災後に兵庫県のYMCAとワイズが一体となり、ユースの育成とYMCA活動の活性化が実現できたのは、ワイズメンズクラブの支援が不可欠だったとの祝辞でした。また、神戸クラブメネット会は国際から特別賞を頂いたとの事です。

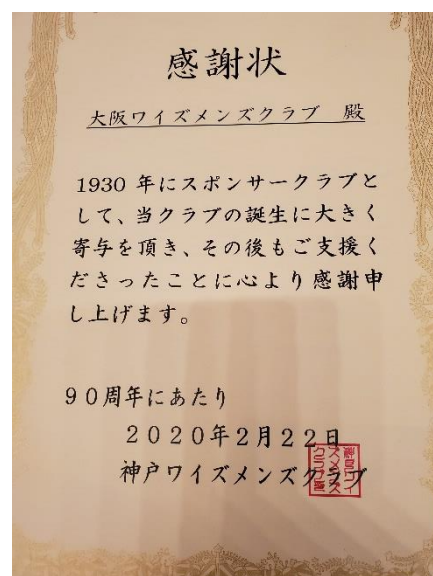
次に、神戸クラブが1984年から開始した、タイ・チェンマイYMC Aの協働事業「タイ・ユースワークキャンプ」を2000年度から担当しておられる、ムアンジン・ナルバチャさん（男）の「平和への道」のご報告が、神戸Yの松田道子さんお通訳でありました。日常的に、タイ北部の発展途上の地域において、持続可能な開発をテーマに支援活動に取り組んでおり、今後のワイズの支援をお願いされました。

続いて、なんと親クラブである大阪クラブへの感謝状授与と記念品の授与があり、清水汎メンと小生が壇上に呼ばれまして、授賞式がおこなわれました。その後、90周年記念献金を神戸YMC Aへ寄贈されました。（感謝状と受賞写真参照）

一部の閉会点鐘で休憩の後、第二部の開宴です。

まず、箏（そう）曲演奏家、濱地智枝さんの演奏曲です。曲の合間に、琴は絃が直線ですが、箏は絃の途中で音程の調節盾を置くのが特徴との事でした。琴よりやや細かい旋律で数曲演奏されました。音色の美しさに、皆さん魅了されていました。六甲部部長、柏原佳子メンの乾杯の後祝宴です。6月西日本区大会などのインフォメーションのあと、井出浩実行委員長の謝辞のとき、神戸クラブメン・メネットの全員が揃われご挨拶がありました。

思いもかけず、感謝状とワインの贈呈をいただき、大阪クラブの諸氏先輩の功績を今もって体感した祝会でした。メネットが一体となった神戸クラブの益々のご発展をお祈りいたします。



【大阪YMC Aニュース】

濱添 吉生

☆第323回早天祈祷会☆

日時…2020年3月13日（金） 7:30～8:30

証し…橋本 健 さん（大阪YMC A国際専門学校 高等課程 表現コミュニケーション学科主任）

場所…大阪YMC A会館 10階チャペル

【ワイズ川柳コーナー】

私の作品を含め川柳コーナーを設けました。遠慮なしに投稿下さい。

道草の 余韻が人の 角を取る

身のほど 知らず欲ぼけて 落ちる穴

稚子妃の こころの輝き 喜びに

気休めの 言葉信じて 日を過ごす

話せたら 心の負担 軽くなる

人の輪の 大切さ知る ワイズメン

【編集後記】

新型コロナウイルスの感染拡大が続いています。人間社会は人と人の付き合いで生きており、すべての行動が止まった場合の恐ろしさが、今身に染みて感じられるようになりました。感染拡大が一日でも早く終わることを祈るのみです。

(編集委員：清水 汎)